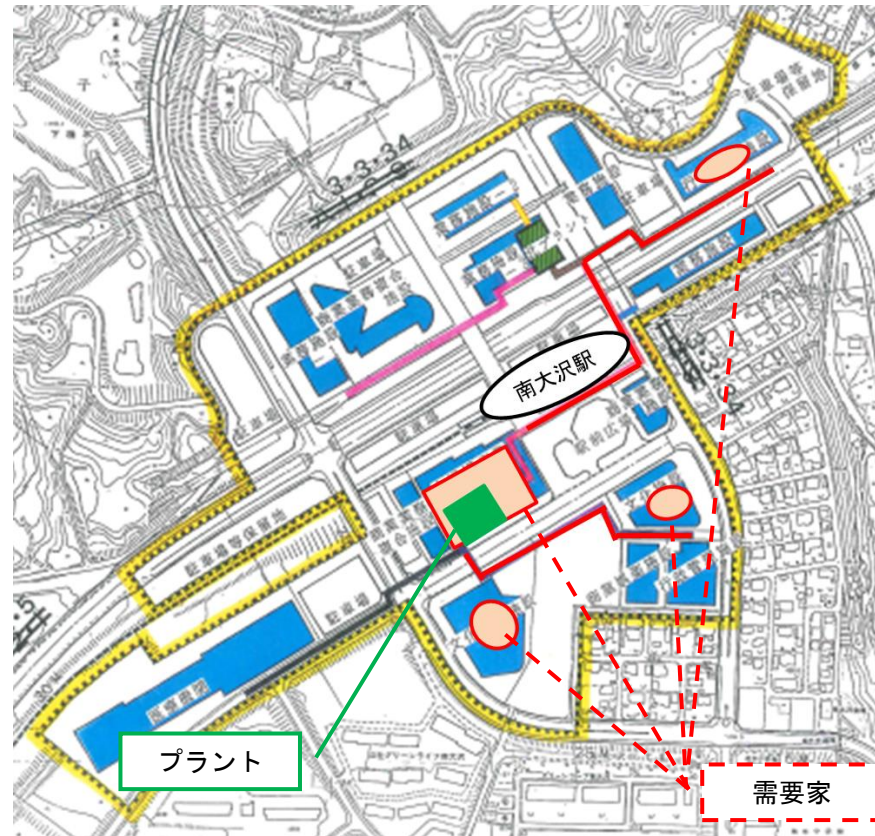


1. 八王子南大沢地域 供給エリア

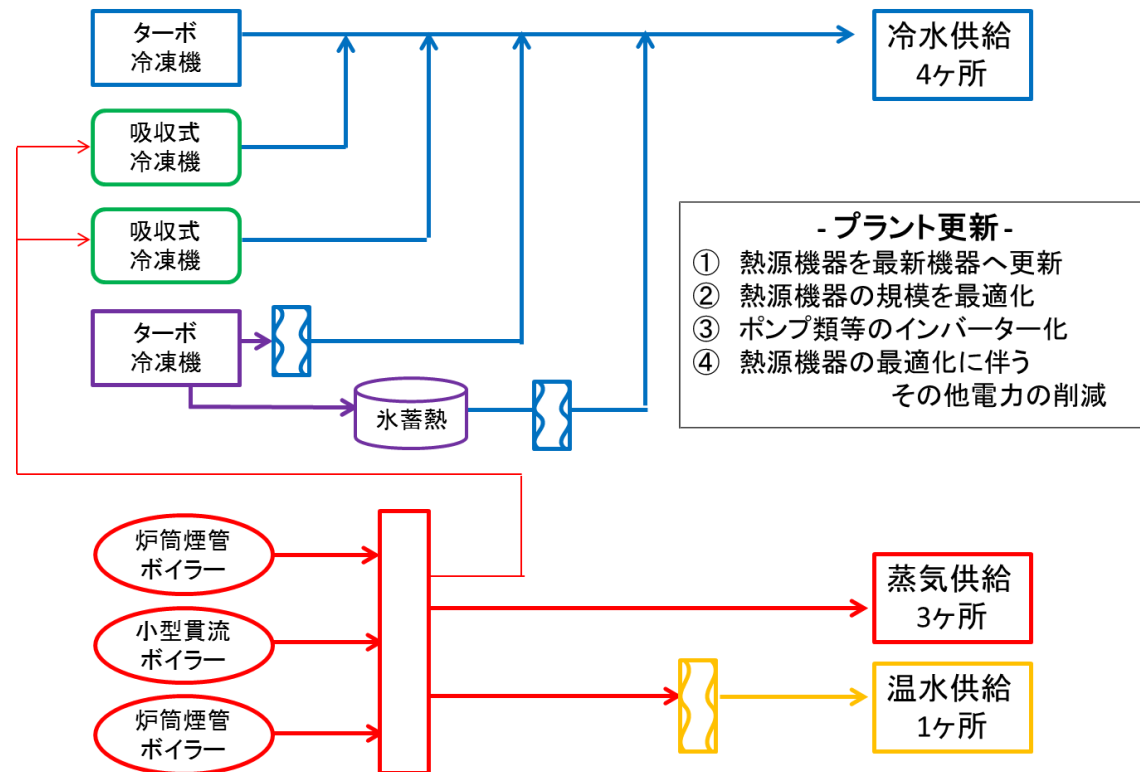
○ 供給区域 (面積)  
30.29 ha

○ 供給施設  
計画 17 施設  
北ゾーン 9  
南ゾーン 8  
現状 4 施設  
北ゾーン 1  
南ゾーン 3

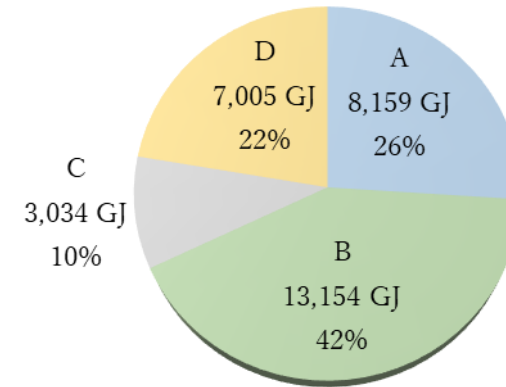
○ 供給開始  
平成 4 年 6 月



2. 熱源機器フロー



3. 需要家別販売熱量比と 5 ヶ年のデマンド



過去5年間の年度別 販売熱量, COP, デマンド

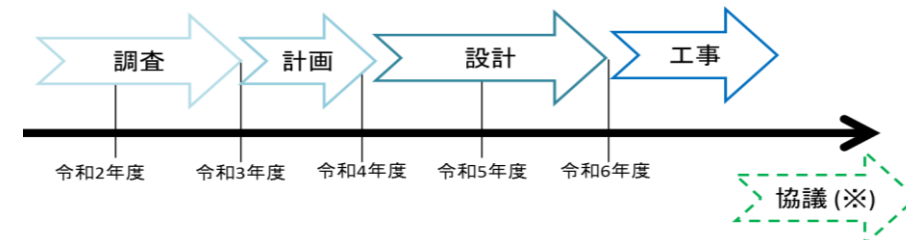
項目	熱種別	単位	H27	H28	H29	H30	H31 (R01)
			2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
販売熱量	冷熱	GJ	19,108	18,969	17,523	20,143	18,124
	温熱	GJ	12,638	12,838	14,117	12,372	13,229
	計	GJ	31,746	31,807	31,640	32,515	31,353
COP			0.65	0.63	0.63	0.67	0.68
デマンド (※)	冷熱	GJ/h	17.4	14.4	15.6	16.3	17.3
	温熱	GJ/h	10.1	9.6	10.9	10.2	7.4

平成31年(令和元年)度 需要家別販売熱量比 (GJ)

供給開始 A: 平成 4 年, B: 平成 8 年  
C: 平成 18 年, D: 平成 21 年

※ デマンド: 年度毎の時間当たり最大供給量

4. 効率改善に向けた設備更新計画の年度展開



(1) 目標・方策: 需要に見合った熱源機器設備への転換 (製造エネルギーの 20% 削減: 目標 COP 0.80)

- ① 最新機器への更新
- ② 熱源機器の規模・能力の最適化
- ③ ポンプ類等のインバーター化による効率改善
- ④ 換気システム等の適正化により, その他電力を削減し効率を改善

(2) 設備更新手順: 需要家の設備更新の動向に基づく更新計画の策定

**調査**: 各需要家における熱種別毎の販売熱量と長期的な供給熱量の予測調査 (需要家の施設改修計画調査を含む)  
・ 大口需要家の設備が改修時期を迎え, 一部需要家で冷暖房方式の見直し検討が行われている. 地冷設備の将来的な必要製造能力を設定するに当たり, 将来需要が大きく影響する為, 改修計画策定に先立ち, 需要家側の意向・計画等の調査を実施する.

**計画**: プラント改修の基本計画の策定

**設計**: 基本・実施設計及び, 資金計画の策定

**工事**: 施工者の選定・工事 (2~3 年を予定: COP 0.80)

※ 更なる効率向上に向けた取り組み ⇒ 遠隔孤立需要家への放熱ロスを削減し, 供給熱効率向上を図る.

**協議**: 需要家と更新時期に併せた効率向上 (最終目標 COP: 0.85) 対策実施に向けた協議

- ・ 今後想定される需要家側設備改修時期に合わせて, 供給方式を含めた効率向上対策の協議を行う.  
(放熱ロスの削減により COP 0.05 の向上)